

個人指導コース

現在、個人指導コース会員の94%が現役生です。入会者は近年進級試験の難化や留年者数の増加により、低学年化しています。メックの個人指導コースでは、的確な成績分析に基づく「個人指導プランニングシート」(スケジュール管理・指導記録等)を作成し、合格をサポートしています。

メック実力派講師陣



20回コース

2時間/回 予約制
1,500,000円+税 受講期間…入会日より1年間
(入会金100,000円+税含む)

10回コース

2時間/回 予約制
800,000円+税 受講期間…入会日より1年間
(入会金100,000円+税含む)

ケース1：Aさん(2年生) 入会理由

生化学、解剖学の前期試験を落としたので、後期試験に向けて対策したい。また、記述式の試験に苦手意識があり、そちらも対策したい。10月より10回コースに入会。



・プランニング内容・

講師カウンセリングで口頭試問を行い「学習内容の大半をなんとなくしか理解できていないことが判明」した為、膨大な暗記量を必要とする「生化学」や「解剖学」の範囲から、重要事項をピックアップして指導することを月に2〜3回の個人指導(計10回)を実施。また、過去問題から大学独自の出題傾向を割り出し講義。記述式の試験対策としては、解答に必要なキーワードの選出と、それを文章化するコツを指導。

・成績推移・

暗記すべき知識を明確にし、暗記した知識を口頭試問でアウトプットすることを繰り返す。結果、生化学、解剖学共に合格。

ケース2：Bさん(6年生) 入会理由

十分な学習量にも関わらず、卒業試験で一般問題、臨床問題共に点数不足で留年となる。本人は、一般問題を苦手としており、その対策の為に3月より20回コースに入会。



・プランニング内容・

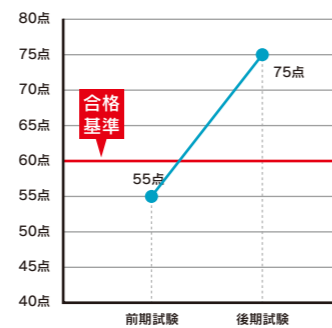
講師カウンセリングで「基礎知識の不足と学習方法の問題点が判明」した為、大学の講義と平行して月2回の個人指導(計20回)を実施。メック夏模試までは、分析により不足していると判明した知識に絞って講義し、自宅での反復学習と次回の個人指導で口頭試問を実施し、知識の定着を確認。メック夏模試以降は、身に付けた知識を応用させて臨床問題を理論的に解かせ、誤答した問題を分析し、割り出した苦手分野を徹底的に講義。

・成績推移・

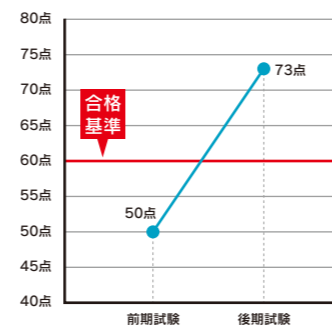
それによって、メック夏模試では「一般問題」の成績が向上し、知識の定着を確認。メック冬模試、卒業試験では、定着した一般問題の知識を基に臨床問題対策を行った結果、正しい解答までのプロセスが身に付き「臨床問題」の成績が向上。また、基礎知識が身に付いたことにより、「必修問題」の成績も向上。卒業試験、国家試験では「一般問題」「臨床問題」「必修問題」全ての分野において高得点で共に合格。

生化学、
解剖学
W合格!

生化学成績推移

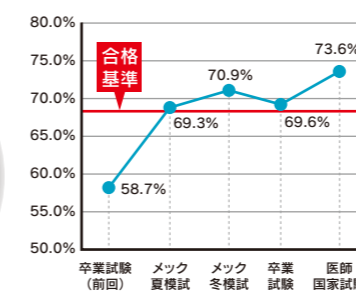


解剖学成績推移

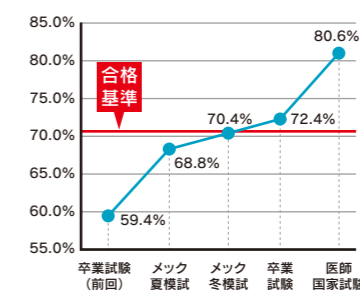


卒試、国試
W合格!

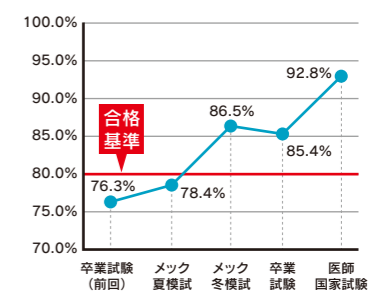
一般問題成績推移



臨床問題成績推移



必修問題成績推移



個人指導コースの流れ

1 チューター相談

目標設定を行います。

例) 卒業試験、合格

現在の成績と使用教材を確認します。

例) 苦手科目や分野の確認、過去試験問題、大学使用テキスト

目標達成のための問題点と対策を検討します。

例) 循環器の理解不足、病態生理を踏まえた問題演習

2 学習プラン作成

必要な指導時間を確定します。

例) 試験日までの4ヶ月に週1回の指導と直前集中指導

担当講師の選定をします。

例) 病態生理等の基礎学力の補講指導を得意とした講師

スケジュール管理シートを作成します。

例) 20回コース

毎週土曜日13:00~15:00 2時間指導

試験月のみ毎週火曜日、土曜日2時間指導

3 担当講師とのカウンセリング

担当となる講師が、1でのチューター相談内容を元に今後の具体的学習内容とスケジュールを設定します。

例) 1ヶ月目:「メック個人指導 特別教材」の使用による循環器病態生理の学習
2~3ヶ月目:過去試験問題 演習
4ヶ月目(試験月):試験出題予想と苦手分野をおさらい

4 個人指導スタート

「個人指導プランニングシート」を元に1対1の個人指導をスタートします。

あなたに合わせたペースや宿題等で学習効果をさらに向上させます。

例) 口頭試問で「わかった気になっていた箇所」をあげ出し、課題点を宿題等で復習し対策

5 学習進捗チェック&サポート

担当チューターが自宅学習での課題進捗状況と指導記録をチェックし、担当講師と連携しスケジュールや学習内容を再調整します。復習教材等でもサポートしていきます。

例) 苦手分野の補強として、個人指導特別教材「臓器別重要疾患集」を使用

保護者様との連携
毎月、スケジュール管理シートと指導記録を送付し、学習状況をお知らせします。